

学生・教職員の皆さんへ

理事（企画担当）・副学長 若林 孝一
理事（教育担当）・副学長 郡 千寿子
理事（研究担当）・副学長 曾我 亨

生成 AI の利用に対する弘前大学の考え方について

昨今、ChatGPT を始めとする生成 AI の開発が進み、社会における関心・利用が急速に進んでいるところです。本学においても、令和5年4月に学生・教職員に対して各理事から利用に際しての注意喚起を行ったところですが、文部科学省より各大学において指針を示すことの重要性が提示された（令和5年7月13日付「大学・高専における生成 AI の教学面での取り扱いについて（周知）」）ことを受け、生成 AI の利用に対する本学の考え方について改めて次のとおり示します。

本学の指針

生成 AI は、学生・教職員の創造性を補完するツールとして利用できる一方、現時点において様々な問題点が顕在化しており、また、潜在的なリスクを内包したものでもあります。本学では生成 AI について、その有用性とリスクを理解した上で、下記の注意事項を遵守しながら、教育・研究活動や管理業務において適切かつ有効的に利活用することとします。

講義や研究における生成 AI の取り扱いは、到達目標や内容、担当教員の指導方針・成績評価方針などにより異なります。担当教員は生成 AI の使用が許容される範囲（禁止を含む。）を明確に示してください。また、学生の皆さんは担当教員からの指示に従ってください。

なお、この指針は今後の技術開発等により変更する可能性があります。

利用における注意事項

・入力情報に関わるセキュリティについて

生成 AI は学習に利用した大量の情報から回答を生成するため、入力した情報が利用者の意図に反して流出する可能性があります。未公開の技術や個人情報等の機密情報は絶対に入力しないでください。詳細については各生成 AI の設定・機能等を確認してください。

・生成された回答の真偽について

生成 AI は様々な情報から問題・設問に対する回答を生成するため、その回答が必ずしも正しいとは限りません。回答については自分自身で正確性や信頼性に対する検証を行い、生成 AI の性質を理解したうえで利用してください。

・典拠となる著作物の取り扱いについて

生成 AI が生み出す情報には引用・参照元が明記されず、情報源が特定されないことから、意図しない剽窃につながる恐れがあります。生成された文章や作成された回答の典拠となる著作物を十分に確認したうえで利用してください。

・生成 AI を用いて作成した文章に対する責任について

生成 AI により生成された文章の使用量の多寡に関わらず、全体に関わる責任はすべて文章の作者が負うものであるということを十分理解して利用してください。

問合せ先：総務部広報・情報戦略課情報連携グループ

内線：3729

E-mail：jm3729@hirosaki-u.ac.jp